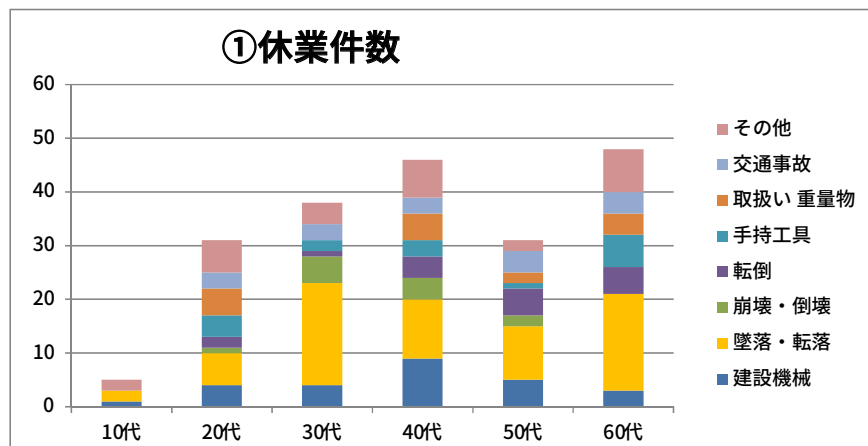


高齢施工者の皆様へ

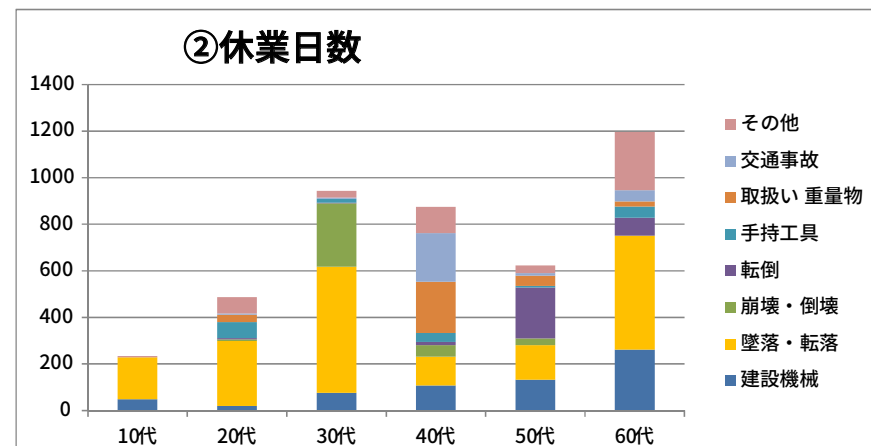
人は、年齢を重ねることで、経験に培われた豊富な知識・優れた技術が蓄積される反面、身体機能の低下(平衡感覚・薄明反応・視力・瞬発力の低下)が著しくなります。ご自身では、身体機能の低下に気づくにくいものですが、一般社会では、ブレーキとアクセルの踏み間違い等が人口の高齢化による社会問題も増えてきております。また、高齢者の休業災害の発生頻度及び重篤度は高くなっておりまして、必ず慢心はせずに注意して現場作業に当たるよう、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

当社の作業現場においては、60歳以上の方の高所作業で安全帯使用を推奨しております。

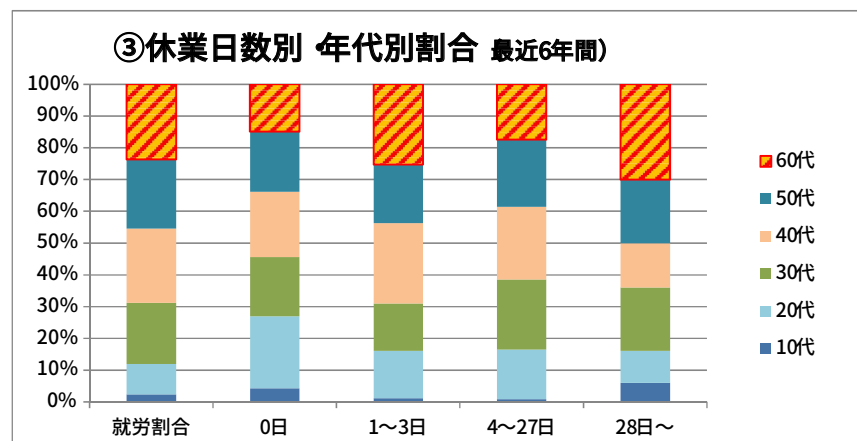
とある建設会社さまでは、休業件数が年代別で見ると60代が最も多く、中でも墜落・転落災害による休業が4割りを占めています。



とある建設会社さまでは、休業日数が年代別で、60代が最も多く、休業件数との割合から見ても、重篤度が増しておりますのでご注意ください。



とある建設会社さまでは、休業28日以上災害の3割が60代となっております。一度災害が発生すると、休業日数も長くなる傾向にあります。



65歳以上の墜落・転落災害事例

【事例1】
鉄筋工:バランスを崩して立馬から1.8m転落
→鎖骨骨折・肋骨骨折・休業日数21日

【事例2】
防水工:バランスを崩して立馬から1.8m転落
→顔面骨折・外傷性くも膜下出血・休業21日

【事例3】
作業員:トラック荷台鉄筋かごより2.7m転落
→頭がい骨骨折・肋骨骨折等・休業日数30日

【事例4】
内装工:現場付近で足を滑らせ10m転落
→腰椎骨折・肋骨骨折・休業60日

**現場での作業においては、くれぐれもご注意ください。
体調が優れない場合は報告の上、休息を取り、事故発生抑制へのご協力をお願いいたします。**